

令和 7年度予算見積調書

課室名: こども安全課
担当名: 養護担当
内線: 3331

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S326	埼玉学園運営費			一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉施設費	埼玉学園費		
事業期間	昭和23年度～	根拠法令	児童福祉法第35条、第44条、同法施行令第36条（義務）			針路分野施策	04 子育てに希望が持てる社会の実現 0403 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsゴール16 SDGsターゲット16-2	16 16-2	
1 事業概要 不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境、その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、個々の児童に応じて必要な指導を行いその自立を支援する。 埼玉学園運営費 37,824千円				5 事業説明 (1) 施設設置の目的 児童福祉法第44条に定める児童自立支援施設として、不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境、その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所又は通所させ、その自立を支援し、退所した者について相談、援助を行う。 (2) 事業内容 ア 生活指導 小舎夫婦制を採用しており、職員が児童と起居を共にしながら、家庭的な雰囲気のもと、児童の生活全般に関わるしつけ、情緒の安定、社会性の涵養等のため、個別指導及び集団指導を行う。 イ 学科指導 平成14年度から学園内に学校を設置し、施設職員と学校教員が協働して、少人数による指導、ティームティーチングや習熟度別学習の実施等、入所児童の特質を踏まえた教育を展開している。 ウ 職業指導 園内での農業指導や園外での職場実習を通じ、健全な職業生活を営むのに必要な態度、習慣等を習得させる。 エ その他 学園内外での、遠足、キャンプ、スキー訓練、各種スポーツ大会、体育祭、文化祭等を行う。 また、被虐待児の入所が増加しているため、嘱託の精神科医や心理専門員等が連携し、児童の精神的、心理的ケアを行う。 (3) 効果 令和3年度 決算：22,334千円 退所時の就職、進学、復学者の割合：90.5% 令和4年度 決算：25,176千円 退所時の就職、進学、復学者の割合：90.5% 令和5年度 決算：26,932千円 退所時の就職、進学、復学者の割合：96.1% (4) 事業計画(目標値) 退園時の就職、進学、復学者の割合 80.0% 退園者数 38人						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 国庫負担金対象分（国1/2・県1/2）										
3 地方財政措置の状況 単位費用算定あり 「第四節 厚生労働費」 「第二款 社会福祉費」 「2 児童福祉費」「（2）児童措置費」										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.15人＝1,425千円										

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金	使用料・手数料	諸 収 入				
決定額	37,824	15,303	67	3,255			19,199	△215
前年額	38,039	15,293	68	3,242			19,436	

事業内訳書

事業名	埼玉学園運営費		
単位事業名	埼玉学園運営費	予算額	37,824千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・ 行政財産使用料	67	△1	行政財産使用料
国庫支出金・ 児童福祉費負担金	15,303	10	児童措置費負担金 負担率：1/2
諸収入・ 児童福祉受託事業収入	1,891	△10	児童福祉施設受託事業収入 さいたま市から
諸収入・ 実費弁償金	1,364	23	埼玉学園賄費戻入
一般財源	19,199	△222	
合計	37,824	△200	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報酬	681	0	非常勤職員の報酬

単位事業名	埼玉学園運営費	予算額	37,824千円
-------	---------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	8,767	△99	非常勤講師への報償
旅費	520	△11	施設長会議、研修、学会旅費
需用費	18,302	△912	栄養士等被服費、生徒の机・イス
役務費	5,236	△34	児童傷害保険料、調理員検便
委託料	1,293	0	機械警備、ゴミ収集
使用料及び賃借料	884	574	電話機リース料、公用車リース料
備品購入費	1,459	282	食器消毒保管庫、ガスフライヤー
負担金、補助及び交付金	682	0	各部活動大会参加費、協議会等負担金
合計	37,824	△200	